

# 四半期報告書の訂正報告書

(金融商品取引法第24条の4の7第4項に基づく報告書)

(第141期 第2四半期)

株式会社 サクラダ

(E01360)

---

# 四半期報告書の訂正報告書

---

- 本書は金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織（EDINET）を使用して、平成21年11月13日に提出したデータに頁を付して出力・印刷したものであります。

株式会社 サクラダ

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成22年5月13日

**【四半期会計期間】** 第141期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

**【会社名】** 株式会社サクラダ

**【英訳名】** SAKURADA CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 曾田 弘道

**【本店の所在の場所】** 千葉県市川市二俣新町21番地

**【電話番号】** 047(328)3145(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員企画部・経理部担当 小野 伊左久

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県市川市二俣新町21番地

**【電話番号】** 047(328)3145(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員企画部・経理部担当 小野 伊左久

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年11月13日に提出いたしました第141期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイル含む。)を提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (3) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期財務諸表

##### (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期累計期間

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

(1) 提出会社の経営指標等

回次	第140期 第2四半期 累計期間	第141期 第2四半期 累計期間	第140期 第2四半期 会計期間	第141期 第2四半期 会計期間	第140期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	—	5,047	—	2,957	9,970
経常利益 (百万円)	—	125	—	123	191
四半期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	—	96	—	107	△1,482
持分法を適用した 場合の投資利益 (百万円)	—	5	—	4	—
資本金 (百万円)	—	—	—	1,402	3,736
発行済株式総数 (千株)	—	—	—	(普通株式) 173,142	(普通株式) 173,142 (優先株式) 16,450
純資産額 (百万円)	—	—	—	1,498	2,053
総資産額 (百万円)	—	—	—	11,043	12,750
1株当たり純資産額 (円)	—	—	—	8.66	11.87
1株当たり 四半期純利益又は 当期純損失(△) (円)	—	0.56	—	0.62	△9.85
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	—	13.6	16.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	385	—	—	—
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	△28	—	—	—
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	△629	—	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	—	873	—
従業員数 (名)	—	—	—	133	132

(注) <略>

(訂正後)

(1) 提出会社の経営指標等

回次	第140期 第2四半期 累計期間	第141期 第2四半期 累計期間	第140期 第2四半期 会計期間	第141期 第2四半期 会計期間	第140期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	—	5,047	—	2,957	9,970
経常利益 (百万円)	—	125	—	123	191
四半期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	—	96	—	107	△1,482
持分法を適用した 場合の投資利益 (百万円)	—	5	—	4	—
資本金 (百万円)	—	—	—	1,402	3,736
発行済株式総数 (千株)	—	—	—	(普通株式) 173,142	(普通株式) 173,142 (優先株式) 16,450
純資産額 (百万円)	—	—	—	1,498	2,053
総資産額 (百万円)	—	—	—	11,043	12,750
1株当たり純資産額 (円)	—	—	—	8.66	11.87
1株当たり 四半期純利益又は 当期純損失(△) (円)	—	0.56	—	0.62	△9.85
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	—	13.6	16.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	<u>466</u>	—	—	—
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	<u>541</u>	—	—	—
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	—	<u>△1,280</u>	—	—	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	—	873	—
従業員数 (名)	—	—	—	133	132

(注) <略>

## 第2 【事業の状況】

### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、当第1四半期会計期間末と比べ3億40百万円減少し8億73百万円となりました。

当第2四半期会計期間（平成21年7月～平成21年9月）における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は1億45百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益1億10百万円の計上、未成工事支出金等1億27百万円の減少及び前渡金5億3百万円の減少により資金が増加したものの、売上債権の増加により資金が9億37百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は10百万円となりました。この主な要因は、固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は1億84百万円となりました。この主な要因は、長期借入金2億32百万円の返済によるものであります。

(訂正後)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、当第1四半期会計期間末と比べ3億40百万円減少し8億73百万円となりました。

当第2四半期会計期間（平成21年7月～平成21年9月）における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は64百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益1億10百万円の計上、未成工事支出金等1億27百万円の減少及び前渡金5億3百万円の減少により資金が増加したものの、売上債権の増加により資金が9億37百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は5億59百万円となりました。この主な要因は、子会社株式の売却によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は8億35百万円となりました。この主な要因は、長期借入金2億32百万円の返済及び自己株式の取得による支出6億51百万円によるものであります。

## 第5 【経理の状況】

### 1 【四半期財務諸表】

#### (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

【当第2四半期累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	101
減価償却費	64
固定資産除売却損益 (△は益)	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△29
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△16
支払利息	71
売上債権の増減額 (△は増加)	△221
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	0
前渡金の増減額 (△は増加)	591
未収入金の増減額 (△は増加)	45
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△33
その他	△24
小計	467
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△72
法人税等の支払額	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	385
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産の取得による支出	△27
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△397
長期借入金の返済による支出	△232
自己株式の取得による支出	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△629
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△272
現金及び現金同等物の期首残高	1,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	873

(訂正後)

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間  
(自平成21年4月1日  
至平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	101
減価償却費	64
固定資産除売却損益 (△は益)	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△29
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△16
支払利息	71
売上債権の増減額 (△は増加)	△221
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	81
前渡金の増減額 (△は増加)	591
未収入金の増減額 (△は増加)	45
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△33
その他	△24
小計	548
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△72
法人税等の支払額	△10
営業活動によるキャッシュ・フロー	466
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△27
子会社株式の売却による収入	570
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	541
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△397
長期借入金の返済による支出	△232
自己株式の取得による支出	△651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△272
現金及び現金同等物の期首残高	1,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	873

以上